



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2015 春号  
Vol.67

## オーロラ生中継大成功！



2015年2月4日(木)～2月15日(日)の期間、大好評イベント「オーロラウィーク2015 ～カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継～」を開催しました。中継はAuroraMAXプロジェクト(カナダ宇宙庁、カルガリー大学、アストロノーノース、イエローナイフ市)の協力の下、館内のプラネタリウムと150インチスクリーンで行いました。

イベント期間中、上出館長によるオーロラ予報をホームページに毎日掲載し、館内には「オーロラなんでも質問コーナー」を開設しました。今年で3回目を迎えた中継イベントですが、今回新しい試みとして前半の1週間は、東京・新宿のコニカミノルタプラザで行われている「宇宙から見たオーロラ展2015」にインターネットを通じて陸別から生中継でオーロラ予報をするというミニコーナーを開催しました。

オーロラの魅力は年々増すようで、たくさんの来館者があり、大阪や札幌から来館された方もいて、熱心な方は開館中何度もプラネタリウムで生中継を楽しんでいました。期間中10日間で600人を超える来館者がオーロラ中継やダイジェスト映像を楽しみ、イベントは大成功でした。

### 「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

「理科離れ」と聞いてから久しい。将来を担う若者が理科から遠ざかり、科学立国日本の将来が危ぶまれているという現象のこと。子供たちが理科に対して興味や関心を失い、次世代の日本の科学・技術のレベルダウンが心配されている。理科離れにはいろいろな原因が複合的に関与しているが、私は科学技術が発達すればするほど、理科離れが進行するという持論を展開している。

理科の授業にまで暗記を持ち込んでいては、理科嫌が増えるのは当然。全国に650以上もある公開天文台や科学館が、「春の夜空に目立つうしにかい座α星アルクトゥールス、乙女座α星スピカ、しし座β星デネボラが描く三角形を「春の大三角」と合唱させているようでは、理科離れは確実に進行する。「科学館が理科離れをつくっている」といわれないようにしよう。



(上出洋介館長)

### ラブジョイ彗星を観測！

2014年8月17日にオーストラリアのラブジョイ(Terry Lovejoy)さんに発見され、2015年1月に肉眼彗星となり話題になったラブジョイ彗星(C/2014 Q2)を観測しました。

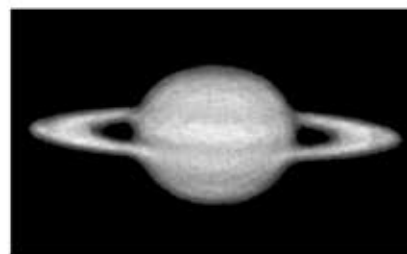
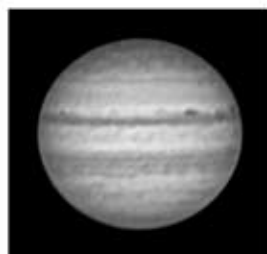
ラブジョイ彗星は1月7日に地球と最接近し、1月中旬頃は、おうし座の中で4等台の明るさでぼんやり見えていました。写真では細く長い尾がわかりますが、肉眼では淡い尾はわかりませんでした。



2015年1月10日 19:34 撮影

### 春は木星・土星が見頃です！

今年は、木星がかい座～しし座、土星がてんびん座の中にあり、木星は6月初旬まで、土星は5月～8月下旬ぐらいまで見頃となります。ぜひ、ご来館下さい。



## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月1日	5:05	17:54	11.7	14:46	3:27
4月15日	4:40	18:11	25.7	2:24	13:52
5月1日	4:15	18:30	12.3	15:30	2:54
5月15日	3:58	18:46	26.3	2:10	15:12
6月1日	3:43	19:02	13.9	17:17	2:58
6月15日	3:39	19:11	27.9	2:43	17:31

# 天文行事&暦

## 4月

- 4 皆既月食観望会  
○満月  
皆既月食  
(食始19:15、皆既始20:54、食最大21:00、皆既終21:06、食終22:45)
- 5 清明(24節気:太陽黄経15°)
- 19 ●新月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 29-5/10 木星と春の天体観望会

## 5月

- 4/29-5/10 木星と春の天体観望会
- 4, 5 特別開館
- 4 ○満月
- 6 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 7 水星が東方最大離角  
(光度:0.4等, 離角:21.2°)
- 11-22 天文台メンテナンス休館
- 18 ●新月
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)
- 23 土星が衝  
(光度0.0等、視直径18.5")

## 6月

- 3 ○満月
- 6 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 7 金星が東方最大離角  
(光度:-4.3等, 離角:45.4°)
- 10-21 土星観望会
- 16 ●新月
- 22 夏至(24節気:太陽黄経90°)
- 25 水星が西方最大離角  
(光度:0.5等, 離角:22.5°)

## 春のイベント情報!!

### ☆皆既月食観望会

昨年(2010年)の10月8日夜以来、半年ぶりに皆既月食が見られます。月が欠けていく様子や皆既中の月の色など、双眼鏡や望遠鏡で観察します。

開催日時: 4月4日(土):(食始19:15、皆既始20:54、食最大21:00、皆既終21:06、食終22:45)

説明会: 午後7時30分~

### ☆木星と春の天体観望会

今年の木星はかに座の中にあり、見頃を迎えています。美しい木星のしま模様をお楽しみ下さい。

開催日時: 4月29日(水)~5月10日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

### 拝啓、天文台より - 「春霞」 -

皆様いかがお過ごしでしょうか。寒さの厳しい冬が終わり、少しずつ春の気配がやってきました。春の夜には、春霞がかかりやすくなります。つい先ほどまで晴れていたのに、あっという間に空全体にもやがかり、星が見えなくなってしまうたり。かと思うと、ある時、一気に晴れて、その後また霧が全てを覆ってしまったり。暖かな春の訪れは嬉しいのですが、この春霞、天体観測にはなかなかの厄介ものです。そこで、星が徐々に隠されてしまった夜は、もやの向こう側を想像してみるのも良いかも知れません。見えないけれど、確かにあるものに想いをめぐらせて。(守)



### ☆土星観望会

この時期、土星が見頃を迎えます。観望会では、土星や季節の天体を観望します。

開催日時: 6月10日(水)~21日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

### 今夜、宙を見上げて - NGC4565・渦巻銀河 -

かみのけ座の中にあるNGC4565銀河は渦巻銀河を真横から見た姿になります。細く伸びる銀河の中央部にはガスやチリからなる暗黒星雲が黒く見えます。このように真横から見る銀河の姿を「エッジオン銀河」と呼び、私たちの銀河も真横から見るとこのような細長い形をしていることでしょう。明るさは約10等と暗いですが、見掛けの大きさは満月の半分程もある大きな銀河で、暗い夜空の下では双眼鏡でもその存在を確認することができ、見えにくい天体が多いNGC天体の中でも比較的に見やすい銀河です。距離:約4500万光年 (算)



### 天文台からのお知らせ

☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。  
(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)

☆ 5月4, 5日(月・火)は、特別開館します。

☆ 5月11日(月)~22日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@rikubetsu.jp](mailto:ginga@rikubetsu.jp)